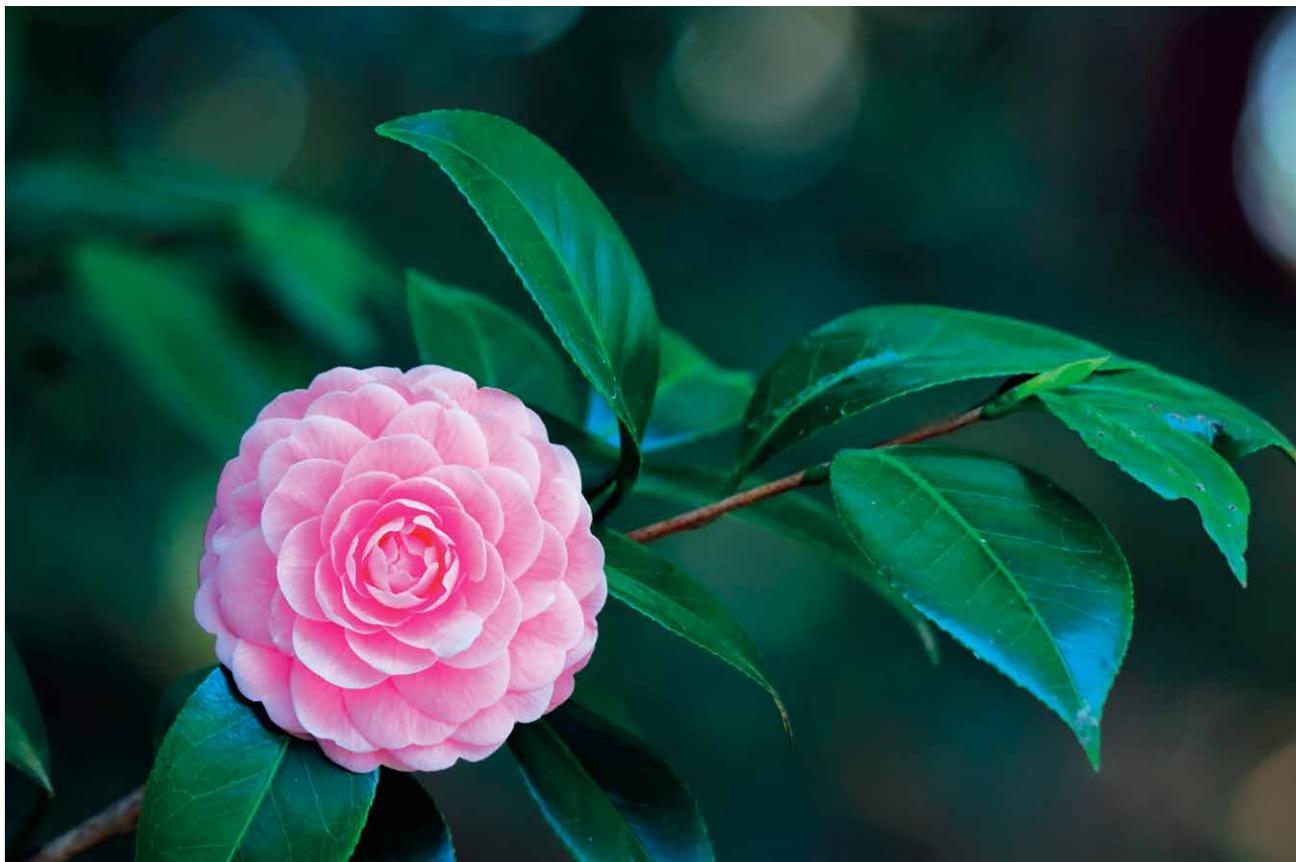




ながの NEWS

発行●一般社団法人 長野県理学療法士会
 代表●佐藤 博之
 (飯田市立病院介護老人保健施設ゆうゆう)
 事務局●380-0836長野市南県町685-2
 長野県食糧会館5F
 TEL:026-234-3540 FAX:026-234-3550
 編集●保高 慎司(鹿教湯三才山リハビリセンター鹿教湯病院)
 藤原印刷株式会社



特集：パラスポーツ(障がい者スポーツ)への理学療法士としての 関わり～パート2 東京2020パラリンピック編～ 6

目次

- ・巻頭言 介護保険部長 相澤病院 訪問リハビリテーションセンター 山村 充教..... 2
- ・おしらせ 3
- ・こども福祉部情報 12
- ・おすすめ!の一冊 『これは「読む」本ではなく「考える」本です』 12
- ・学術の広場 13
- ・北から南から 宮坂医院・山田記念朝日病院 14
- ・徒然なるままに 『上善如水』 16
- ・賛助会員広告 17



NEWS of
the NAGANO PHYSICAL THERAPY
ASSOCIATION

PT **ながの**
NEWS

No. **78**

巻頭言



介護保険部長
相澤病院 訪問リハビリテーションセンター **山村 充教**

先日、2021年の年間ベストセラーが発表され、ランキング2位に「スマホ脳」(アンデシュ・ハンセン 久山葉子訳)がランキングされました。(1位は「人は話し方が9割」永松茂久) スマホの影響によるうつ症状や依存に警笛を鳴らす内容であり、私自身もこの本を読んで以降、極力スマホと距離を置くことを心がけています。コロナ禍の中でスマホに接する時間も増えており、そのような状況に対する危機感がこのランキングに影響しているのかもしれませんが。ある調査結果では、コロナ禍前である2020年2月前半と、ステイホーム期間の同年3月後半とでInstagramを見る回数を比較したところ、87%も増加していたそうです。私達が一日に受ける情報量は江戸時代の一年分とも言われ、日々膨大な情報量に接しています。この原稿を書いている12月上旬、「オミクロン株」が日本でも確認されたり、3回目のワクチン接種が開始されたりと、連日テレビやネットから大量の新型コロナ関連のニュースが流れこんできます。

「神よ、変えることのできないものを静穏に受け入れる力を与えてください。変えるべきものを変える勇気を、そして変えられないものと変えるべきものを区別する賢さを与えてください」これはアメリカの神学者ラインホルド・ニーバーの残した言葉です。このコロナ禍で長野県士会の活動も中止になったり、Webでの開催に変更になるということを余儀なくされています。新型コロナに対する不安そのものを消し去ることはできませんが、取り込む情報を制限する、取捨選択するという行動自体は自分自身で変えることができます。必要な情報と不必要な情報を選別する能力、変えられないものと変えるべきものを区別する賢さを備え、変えるべきものにエネルギーを集中したいものです。そうすることで心身ともに健康な状態で日々を送ることが、ひいては感染予防に繋がるのかもしれません。

会員各位

(一社) 長野県理学療法士会
会 長 佐藤 博之 (公印省略)
第 51 回長野県理学療法学会
学術大会長 林 忠輝 (公印省略)

第 51 回長野県理学療法学会開催のお知らせ

拝啓 時下、先生方におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、第 51 回長野県理学療法学会を下記の要項にて開催いたします。
多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。

敬具

記

テーマ：感染流行・災害時における理学療法士の役割
期 日：令和 4 年 6 月 18 日（土）～ 6 月 19 日（日）
会 場：南信州・飯田産業センター エスバード
形 式：ハイブリッド開催

* 新型コロナウイルス感染状況等によって、開催形式（完全会場型、完全 Web 開催等）へ変更となる可能性もございます。開催形式については、今後開設予定の大会特設 HP 等でお知らせいたします。

以上

会員各位

第 51 回長野県理学療法学術大会
学術大会長 林 忠輝
(一社) 長野県理学士会
学術大会部長 森本 正道

第 51 回長野県理学療法学術大会演題募集のお知らせ

拝啓 時下、先生方におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、第 51 回長野県理学療法学術大会の演題を下記の要項で募集いたします。
皆様のふるってのご応募をお待ちしております。

敬具

記

内 容：①演題区分 I：大会企画演題（A 感染関連, B 災害関連）
II：一般演題（I に該当しないもの）

②演者名

③内容を簡潔にまとめたもの（文字制限等はありません）

④理学療法士免許取得年 昭和・平成 年 月

*大会企画演題についての詳細は、別紙「大会企画について」を
ご参照ください。

応募先：社会医療法人栗山会 飯田病院
リハビリテーション科 平沢 さとみ
TEL：0265-22-5150 FAX：0265-56-8734
E-mail：tadateru.hayashi@iida.or.jp

* 郵送・FAX・E-mail のいずれかで送付願います。

締 切：令和 3 年 12 月 31 日

以上

大会企画について

当学術大会では、「大会企画」として、テーマに沿った演題を募集しております。また、「感染」「災害」それぞれの分野でシンポジウムを開催する方向で調整しております。このため、「大会企画演題」にご応募いただいた演題については、演題選考の際にシンポジウムへのエントリーをお願いする場合がございます。当学術大会での新たな取り組みでもあるため、ふるってご応募いただけますようお願い申し上げます。

1. 大会企画演題の内容について

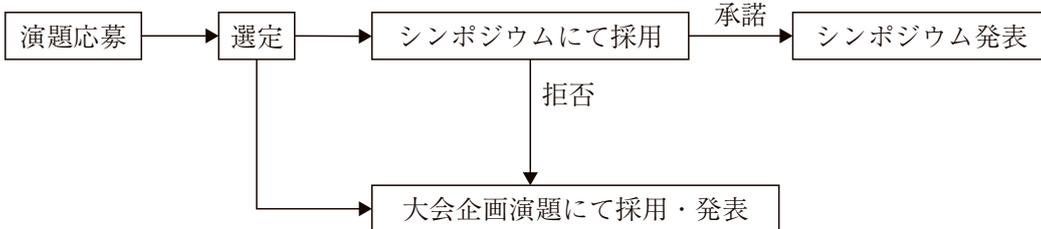
- A 感染関連 新型コロナウイルス、その他感染症に対する取り組みや対策等の報告
(例) 病院・施設、リハビリテーション室等での感染対策や取り組み
新型コロナウイルス患者への理学療法介入経験報告、症例報告
- B 災害関連 長野県内（栄村地震、御嶽山噴火、千曲川氾濫 等）の災害に限らず、東日本大震災等、県外の災害に関連する内容も可
(例) 災害時での病院・施設及び理学療法士としての取り組み等
災害派遣等被災地で活動や支援を行った経験談等

2. 演題募集～抄録提出までの流れ

一般演題



大会企画



- * 選定に関しては、シンポジウムへのエントリーも含め、選考委員に一任頂けますようお願い申し上げます。(応募の時点でシンポジウムへのエントリー希望等はいりません)
- * シンポジウム採用予定者には、別途シンポジウムへのエントリーの依頼を行い、演者の承諾を得た後、シンポジウムへの発表へ切り替えます。
- * シンポジウムは会員発表の他、外部講師等を招いて開催予定となっています。

特集：パラスポーツ（障がい者スポーツ）への理学療法士としての関わり～パート2 東京2020パラリンピック編～

松本市役所文化観光部
スポーツ推進課 係長
理学療法士 田口 真紀

1 はじめに

前回（PT ながの NEWS 第 71 号）の寄稿の続きを書かせていただきます。パラスポーツについてご興味のある方は、約 2 年前の寄稿をご覧くださいと思います。2021 年 10 月 1 日付で「日本障がい者スポーツ協会」の名称が「日本パラスポーツ協会」へ変更となりました。そのため、今後は「障がい者スポーツ」というよりも「パラスポーツ」という呼び方が一般的になるかと思えます。そして、いつかは誰もが一生涯を通してスポーツする「生涯スポーツ」の一環になっていくことを望みます。東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、「東京大会」という）のレガシーが良い方向に残り成熟していくことを期待します。

私は松本市役所職員で、前回の寄稿後、公民館（社会教育・生涯学習分野）から体育館（社会体育・生涯スポーツ分野）へ異動し、令和 3 年度からスポーツの一元化を視野に入れ、スポーツ推進課職員として「パラスポーツ」について事業化、障害福祉課と協力しながら実施しています。

スポーツ基本法が戦後初めて改訂されてから、スポーツ庁が設置され、各自治体へスポーツの一元化を求め、本来は直ぐに応じられる行政であって欲しいと願っていましたが、長い歴史の中で長野県では今もパラスポーツは福祉管轄となっています。

今まで、パラスポーツにはプライベートで関わってきましたが、東京大会に関わるために組織委員会から委嘱・任命を受けることで、職場から許可をいただくことができました。おかげさまで普段の業務では出来ないような様々な経験をさせていただきました。どのようにして関わることになったか、などをお伝えし、理学療法士（以下、「PT」という）の皆様の方々の今後の活動の参考にしていただければ幸いです。ただし、組織委員会の守秘義務違反にならない程度の内容のため、深いところまではお伝え出来ないかと思えますのでご了承ください。現地でのマスコットキャラクターや会場写真は掲載不可で、図面や会場図等の転用も制限されています。興味のある方は東京大会組織委員会の HP をご確認ください。執筆者にご連絡ください。

皆さんは、東京大会にどのように関わりましたか？

2 東京大会で PT として関わるにはどんな手段があった…？

という、疑問のある方は、お読みください。組織委員会から「公表はしません」、と回答がありましたので、あくまでも個人的な情報になりますことをご了承ください。

私を知る限り、ルートは複数あったようです。以下に複数ルートを記載いたします。

- (1) 組織委員会職員：期間を区切った契約社員が多数いました。メディカルの医療事務責任者（MOM）担当となり各競技に配属されることが多かったようです。本部に残っている職員も数人いますが、契約期間が 9 月 7 日までの人が多く、期間終了後は、前職場等に復職されたようです。
- (2) Field Cast（ヘルスポランティア）：東京大会に 10 日間、1 日 9 時間程度、無償で関わることのできる PT。更に NF に関わらないことが条件。書類応募後、面接をクリアして決定。交通費・宿泊費等、自費。（東京大会の合計で国内 PT500 人程度）
- (3) 各競技会場の PT 主任：書類提出後、県士会と日本理学療法士協会から推薦を受け、候補者登録され、最終的に組織委員会で決定。交通費・宿泊費等、自費。（パラ 22 競技）
- (4) NF からの推薦：競技に携わっている PT で、日本の競技チーム付きの配属が難しかった PT。NF から推薦により組織委員会で決定。交通費・宿泊費等、自費。

(5) NF 付の PT : NF に携わっている PT。詳細不明。

ご存知の方もいると思いますが、スポーツ界では長い歴史の中で、柔道整復師会と理学療法士協会の様々な局面があったようです。オリンピック医務室は、日本国内の各競技団体（以下、「NF」という）から、長年、競技に携わっている AT の推薦が多かった印象です。パラリンピック医務室は、医師（組織委員会雇用）と PT（無償）の配属を必須とした様子でした。けれども、パラスポーツ競技に関わっている PT が少なく人選に苦労したようです。私は上記(3)で選出され、一度も見たこともない競技「パラ射撃」に関わることになりました。

3 東京大会について

2021.8.24 開会式～9.5 閉会式のスケジュールで夏季 22 競技が開催されました。

コロナ禍で 1 年延期となり、無観客での開催でした。パラリンピック競技大会（以下、「パラ大会」という）では、感染症対策を十分行いながら複数会場で小中学生の無言での参観がありました。

東京大会では、ボッチャの日本選手の個人の決勝戦で、試合放映がありました。前大会のリオ大会では、ボッチャの日本チームの決勝戦（金メダル・銀メダルの争い）は放映されず、同時時間帯の競技（車いすバスケット 9 - 10 位戦）を放映していたので、メディアの意識に大きな変化があったと感じました。今、「共生社会」というキーワードが溢れていますが、こういう少しの変化から少しずつ、が大切だと思います。

東京大会での「Field Cast/City Cast」のネーミングは「私は輝く」、大会を成功させる一員（Cast）として大会を盛り上げる重要な役割を持って欲しいという願いが込められているそうです。Field Cast は大きく 4 つ（組織委員会職員、委託事業者、大会ボランティア、その他）に分けられ、大会ボランティアには 9 種類（案内、競技、移動サポート、アテンド、運営サポート、ヘルスケア、テクノロジー、メディア、式典）がありました。その中で私はヘルスケア（メディカルスタッフ）の位置付けでした。「パラ射撃競技の PT 主任」という立場で、役割は、全国から応募のあった PT のうち「パラ射撃会場」に関わる予定の PT の面談、シフトなどの取りまとめを行い、医師、職員と一緒に大会運営がスムーズに出来るように考えていく、というものでした。

選手村の PT（オリ委員会職員）からは、「前回のリオ大会の情報が残っていない状況なので東京大会のレガシーを残し、次回のパリへ引き継ぐことが必要」とのことでした。しかしながら、基本的には医務室勤務（診療所扱い）となるため、法律上当然のことではありますが、「医師の指示に従うこと」、を組織委員会から強調され、PT たちは医師の指示に従うしかない、という雰囲気が大会前に大きくなりました。

また、「ボランティア＝無償」という日本の風潮がある中で、SNS 等では「ブラックボランティア」という言葉が飛び交っていたり、コロナ禍で急な辞退者も多かったと聞いています。メディカルスタッフは、資格が必然で、職場の理解を得られない限り協力することは不可能です。当初、組織委員会がメディカルスタッフに求めた日数は、「9 時間勤務で大会期間を含め 10 日間以上、無償で交通費・宿泊費・食事も全て自ら手配と自費負担」という条件でした。私は、面談や会議等も含め最終的には 20 日間程度関わりました。

「パラ射撃」では、テストイベントは中止、医師も職員もパラ射撃のことは知らない、オリンピック射撃に関わる PT は不在（柔道整復師の AT のみ）、NF の回答が無いに等しい、組織委員会からの情報も無のまま「PT 主任として取りまとめてくれ」、という非常に厳しい状況の中で大会へ向けて準備を進めました。2021 年 6 月末にオリンピック射撃会場に PT が関わることを個人的に知り、そこからオリンピック側と情報共有を開始できました。

2021 年 3 月の東京大会に関わる会議での質疑応答に組織委員会は「決まっていないので心苦しいが答えられない」という回答ばかりが続き「会議の意味があったのか？会議はやったから後は頼む」というニュアンスを感じ取れました。様々な要望を出していましたが、6 月末にはパラ射撃の組織委員会事務担当者が急遽変更となり、再度、ゼロからのやり取りとなりました。他の会場も複数回担当替えがあったようで苦労していました。様々な要望を出した中で、最終的に遠方からの対象者には往復交通費は出ることになりました。実際に、

パラ射撃会場（埼玉県）に関わることが決まったPTは県外者ばかりでした。「近隣居住者しか関わらない、という前提の条件ではないか、学生で県外者は何人関わったのだろうか、東京都民だけでやる大会なのか」と強く感じました。それでも外国からスタッフとして加わっている人も多くいました。

研修はリアルでは受けられませんでした。オンライン研修プログラムが組まれました。様々なセキュリティは万全で、爆破テロによる損傷者の救助方法等について研修もありました。

4 東京大会前後のPTスケジュールについて

ざっくりとなりますが、下記のようなスケジュールで関わらせていただきました。

- | | |
|-------------|---|
| 2018年12月 | 推薦（長野県理学療法士会→日本理学療法士協会→組織委員会）※1 |
| 2019年5月 | 組織委員会から「パラ射撃」会場のPhysical Therapist（PT）主任の委嘱※2 |
| 8月～10月 | 一般応募の中で書類選考された理学療法士（3-②）の面接を実施。
コロナ禍のためリアル面接は中止、オンラインで実施。そのためPC自費購入。
（医師または組織委員会職員と2人組で録画をしながら実施）
（※この面接により900人から500人程度に絞られたのではないかという状況） |
| 12月～2020年3月 | 会場別・役割別研修 |
| 2020年4月 | 「パラ射撃」テストイベントが中止 5月 無期延期連絡、委嘱凍結 |
| 2021年1月～6月 | 委嘱再開の連絡が無いまま、PT主任会議、会場別会議、シフト調整、組織委員会とのやり取り等、5月に再委嘱。6月から事務者交代により再交渉開始。 |
| 8月（2回） | パラ射撃会場の理学療法士ミーティング実施（オリンピックメンバー同席） |
| 8月20日 | ボッチャ会場のPT主任からSOSの連絡が入る |
| 8月24日～9月5日 | パラ大会期間（パラ射撃会場・ボッチャ会場にスタッフとして関与） |
| 9月27日 | パラ射撃会場報告書を組織委員会へ提出 |
- ※1-1 長野県理学療法士会のスポーツサポート部に「ボッチャ」部門を作り活動していたため、パラ大会のPT募集がありスポーツサポート部部長に長野県として推薦をいただけるかを相談。
- ※1-2 長野県理学療法士会から日本理学療法士協会へ推薦をいただき、その後、組織委員会へ推薦。
- ※2 推薦者（※1）から夏季オリンピック会場とパラリンピック競技会場（22競技）のPT主任を選別

5 東京大会までのパラスポーツに関わる活動

- | | |
|-----------|---|
| 1997（H09） | ガイドヘルパー取得、フロアバレーボールチームで選手・審判員として活動 |
| 1999（H11） | 理学療法士資格取得、病院勤務 |
| 2000（H12） | 障がい者スポーツ指導員初級取得（大阪）
※当時、PTは初級から取得、現在は中級から取得できる |
| 2021（H13） | 松本市役所入庁 |
| 2004（H16） | 障がい者スポーツ指導員中級取得（大阪） |
| 2008（H20） | 障がい者スポーツトレーナー取得（横浜） |
| 2011（H23） | 日本ボッチャ協会上級審判員取得、地域支援リーダー取得（サンアップル認定資格）
長野県ボッチャ協会設立（講演会謝金10,000円を寄付し設立。設立時事務局長着任） |
| 2017（H29） | 日本ボッチャ協会国内クラシファイヤー認定
BISFed（国際ボッチャ連盟）主催の日本で初のボッチャ国際大会（三重県）に関与
（2021年三重県全国障害者スポーツ大会から「ボッチャ」が正式種目になることが決定）
BISFed（国際ボッチャ連盟）クラシファイヤー研修生認定（台湾） |
| 2018（H30） | 日本パラリンピック委員会（以下、「JPC」という）の視察同行（オーストラリア）、東京大会スタッフ応募 |

- 2019 (R01) 東京大会パラ射撃会場 PT 主任委嘱
- 2020 (R02) 「J-STAR プロジェクト」でボッチャ競技担当者としてアスリート発掘
- 2021 (R03) 東京大会、国際パラリンピック委員会（以下、「IPC」という）へJPCのクラス分けネットワークから課題等提示、組織委員会へパラ射撃会場活動の報告、BISFed主催アジア地域会議参加、「J-STAR プロジェクト」ボッチャ競技担当、日本理学療法士協会へ寄稿、県士会PTながのNEWSへ寄稿

6 東京大会での役割

- (1) 大会前まで：PT主任として、全国から応募のあったPTの面接、会場運営のアドバイス、医務室の物品確認、スタッフ勤務調整、組織委員会職員と医師と連絡調整、他競技PTと情報交換等
- (2) 大会期間中：Venue Chief Physical Therapistとして、医務室業務を医師と一緒に調整。本部や選手村と必要時のやり取り
- (3) 大会終了後：委嘱期間は終了。組織委員会から報告書の提出を求められ、その後も1か月間、医師やPTとやり取りしながら作成。パラ射撃会場PTオンライン反省会実施

7 東京大会に関わって感じたこと

- (1) 東京大会への関心度が、東京近郊と長野県での差が大きいと感じました。
- (2) 東京近郊の駅では、フラッグやロゴや選手の写真が入ったポスターなどが必ず目につきました。
- (3) 会場近郊では、東京大会キャラクターマスコットと記念撮影が出来るようにオブジェが配置され工夫されていました。
- (4) 駅構内は、射撃競技の「的と距離」がペイントされており、無関心者でも電車利用時に目に入るようにすることで必然的に感覚としてインプット出来る仕掛けだと感じました。(写真1)
- (5) 組織委員会の守秘義務については統一がなされていないと感じましたが、大変厳しい、ということが分かりました。
- (6) 東京大会だけではなく、パラスポーツに関わり続けるには、競技特性と障害特性の関係性等の理学療法士として学んできた知識は必須で、加えて行動力と情報収集が大切だと感じています。誰も教えてくれないのが当たり前、というところからの出発だと思います。そのために、自分が何をしたいか、周囲に何が必要か、誰とどんなコミュニティをつくるか、という自分なりの軸が大切だと思います。大会会場で出逢ったスタッフたちは、チームの一員として全員が自主的に行動していて驚きました。
- (7) 本来はパラ射撃会場だけの関りだったのですが、直前でボッチャ会場からSOSの連絡が入り、長年描



(写真1)

いていた「パラリンピック競技会場でボッチャ競技を支える人になる。」という大きな夢が叶っていました。ボッチャにずっと関わってきたからこそ「助っ人」として声がかかったのですが、国際大会に帯同した経験はありません。こんな凡人でも、夢を持ち続けることで、無観客となった会場へスタッフでコート間近まで入ることが出来て、生で国歌を聞いたことは、一生忘れられない出来事となりました。

- (8) その時の流行を追うのではなく自分の軸（私の場合はボッチャという競技スポーツに関わることを大切にしながら細々とでも活動を続けてきた結果、東京大会に関わりが持てたと思っています。これからも、自分の初心を忘れずに進んでいきたいです。今後もパラ射撃会場に携わったPTたちともお付き合いがあり楽しみです！（写真2）
- (9) 関わってくれる人たちの様々な思いを汲み取りながら、PTたちをチームとしてまとめることを意識した結果、今後もつながることの出来る人間関係が構築できたと思います。
- (10) 「アスリートを支える人たちは、こんなにいるし、こんなに必要だ」ということを会場へ行き、改めて肌で感じました。
- (11) 私は、病院勤務ではないため、これからも意識的に選手に関わることを続け、徒手療法に限らず、最新の手技、物理療法の情報収集や競技観察（動作分析）を積み重ねていくことでPTとしての質を担保する努力を重ねていこうと思います。

8 パリ大会までの動き

- (1) 国際クラス分け規定の見直し：IPCでは、クラス分け規定の見直しを2021年6月から9月にかけてIPCに加盟する諸国に対して意見を広く募集しました。日本からは、各競技団体のクラシファイヤー（私は日本ボッチャ協会クラシファイヤーとして参加）が意見を出し合い、最終的にJPCから9月16日にまとめたものを提出しています。
- (2) 各競技のルールの見直し：4年に1回、大会後に各国際競技団体に協議され、見直しがかかることが多いです。BISFedでは、ボッチャクラス分け規定の見直しを既に着手しました。
- (3) ランキング獲得：次回大会は、3年後ですが、国際大会等でランキングを取らないと出場資格を得られません。アジア圏での大会については、近い日程では2022.3.22に杭州2022アジアパラ大会が開催される予定で進んでいます。



(写真2)

9 ご案内

私は、長野県理学療法士会スポーツサポート部ボッチャ担当者、日本ボッチャ協会クラス分け委員会副委員長兼指導者、中級障がい者スポーツ指導員として活動中です。長野県内の活動は予算の関係もあり限られていますが、是非、一緒に活動して、国際的に活躍するPTや医師と関わり合いながら、世界を目指してみませんか？まずは行動してみましょう。

松本市役所では、毎月、障がい者スポーツ指導員の力を借りながら「パラスポーツ体験会」を実施しています。詳細は「土曜の午後はパラスポーツ！松本市」で検索してください。その行動がスポーツトレーナー活動の第一歩になるかもしれません。あなたが出来る第一歩は何ですか？

2028年には、長野県で「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」が開催される予定です。そこに活動の焦点を当てるのであれば、今から行動を始めた方が良いと思います。

現場では、楽しいことばかりだけではなく責任もありますが、必ず自己成長につながると断言できます。是非、パラスポーツに関わってみてください。現場でお会いできることを楽しみにしております。

● ながの こども療育用具・福祉機器展（Web 版） ●

今年度の Web 版福祉機器展ですが、11月1日よりホームページが公開となっています。昨年よりも多くの業者様にご協力頂き、パワーアップした内容となっています。また、福祉機器や療育用具を実際どのように使用しているのかという写真展もホームページ上で開催しています。公開期間は来年の福祉機器展開催までとなります。ぜひ、ご覧頂き、福祉機器の情報を得る一つのツールとしてご利用頂ければと思います。

ホームページアドレス <https://hukushikikiten.wixsite.com/naganokodomo>



おすすめ！の一冊

会員の皆様のおすすめの書籍を紹介させていただきます。



タイトル：『これは「読む」本ではなく「考える」本です』

著 者：笠間 リョウ

出版社名：総合法令出版

これは、思考実験の本です。「思考実験」とは、特定の条件を設けて思考を巡らせることです。この本は、Q & A 形式で、発想力、理論的思考力、問題解決力、数学的思考力、それぞれの分野からの問題がでてきます。わかりにくい問題でも、答えを見るとそういう考え方もあるんだ、と発見することができ刺激的です。また、答えはあくまで解答例であり、それ以外の考えがあってもいいところが堅苦しくなくていいと思います。

時代が変化していく中で、これからは柔軟に物事を考えていくことが必要であると思います。さらに、臨床でも患者さんの評価、治療と進めていく中で、ひとつの現象にとらわれすぎると考えが偏り、結果、適切な理学療法が提供できなくなってしまうこともあります。広い視野から考え、気づき、対応できることは、人生においても仕事においてもとても大切なことだと思います。今以上に、考える力を身につけたい方におすすめの一冊です。

北アルプス医療センターあづみ病院 山本 遼子

1. リハビリテーションロボットの現状

訓練支援ロボットは、高齢社会を背景に国内外で急速に発展しており、現在では最先端のリハビリテーション治療として一つのトピックスとなっている。我々理学療法士が最先端のリハビリテーションを患者に提供するためには、多種多様なロボットの特徴を十分理解した上で、訓練をデザインしていくことが非常に重要と言える。

現在、他種多様な歩行練習支援ロボットが開発され、スイス Hocoma 社の Lokomat、ドイツ Reha-Stim 社の Gait-Trainer GTI、Ekso 等¹⁾がある。一方国内では、筑波大学が開発した Hybrid Assistive Limb[®] (HAL[®])、本田技研工業株式会社の歩行アシスト、トヨタ自動車株式会社のウエルウォークなどがある¹⁾。ここではウエルウォークを解説する。

2. 脳卒中片麻痺の歩行再建におけるリハビリテーションロボット

ウエルウォークは、藤田医科大学とトヨタ自動車株式会社が共同で開発した、歩行練習支援ロボットである。脳卒中片麻痺者の歩行練習に特化し、麻痺側下肢のみをアシストする設計は上述した歩行練習支援ロボットとは異なる。ウエルウォークはロボット脚、低床型トレッドミル、安全懸架装置、脚部免荷装置、患者モニタ、操作パネルで構成されており、トレッドミル上で歩行練習を行う。豊富なフィードバック機能（視覚、音声）、トレッドミルによる練習量の確保、精緻な補助調整性（膝伸展アシスト、振り出しアシスト、体重免荷量など）が特徴である。また、患者の歩容の状態や練習過程に応じて、療法士がパラメータを設定し、適切な難易度で歩行練習を行うことが出来、運動学習理論に即した歩行練習課題の提供を行うことが出来る。

ウエルウォークの有効性について解説する。Tomida ら²⁾は、ウエルウォークのプロトタイプである GEAR を用い、初発脳卒中患者を対象に、歩行自立度の回復の速さに与える影響を検証し、従来理学療法群よりも GEAR 群の方が「FIM 歩行改善率（＝介入期間中の歩行 FIM 利得／介入期間と定義）」が有意に高かったと報告している。また、Katoh ら³⁾は、ウエルウォークが歩容に与える影響を検証し、異常歩行の程度を示す指標値が GEAR 群において有意に低かったと報告している。以上のことからウエルウォークは、歩行自立度の改善を促進し、異常歩行の軽減につながると示唆されている。当院でもウエルウォークを導入しており、年間 58 症例（2020 年 11 月～2021 年 10 月）に対してウエルウォークを用い歩行練習を行っている。

今後もリハビリテーションロボットは発展を遂げていくことが予想されるが、我々理学療法士は患者のために、常に学び広い視野で追求していきたいと考える。

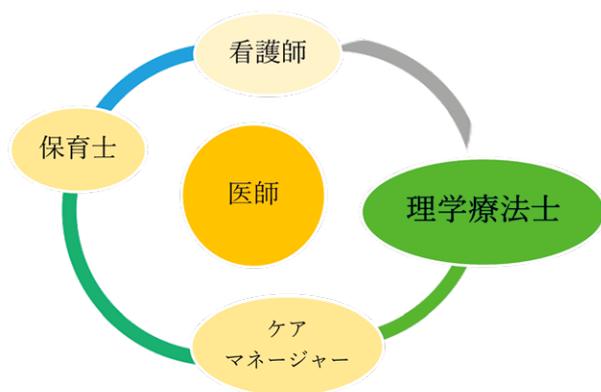


図 ウェルウォーク WW-2000
(トヨタ自動車)

参考文献

- 1) 平野哲、脳卒中患者の歩行再建をめざしたロボットリハビリテーション、Jpn J Rehabil Med 2020 ; 57 : 392-398
- 2) Tomida K et al: Randomized controlled trial of gait training using gait exercise assist robot (GEAR) in stroke patients with hemiplegia. J stroke Cerebrovasc Dis 2019;28:2421-2428
- 3) Katoh D et al: The effect of using Gait Exercise Assist Robot (GEAR) on gait pattern in stroke patients: a cross-sectional pilot study. Top Stroke Rehabil 2020;27:103-109

● 宮坂医院



濱 美香保

宮坂医院は、居宅支援事業・居宅療養管理・訪問看護・訪問リハビリテーションの事業所があり諏訪市病児病後児保育室「スマイル」も併設しています。お子さんからお年寄りまで家族でご利用いただける地域に根差した診療所を目指しています。訪問リハ部門は理学療法士2名と少数なので周辺の病院や施設との交流や各サービスとの連携を大切にしています。

長年医療サービスを受けていた当診療所でそのまま介護サービスを提供できるため、利用を躊躇している患者さんへの介護保険サービス導入がスムーズに行えます。また事業所内の医師やケアマネージャー・訪問看護師と連携しやすいので、亡くなる直前まで訪問リハを継続することもあります。

いつまでリハビリテーションを行うのか、その意味は何なのか難しい課題ですが「住み慣れた地域で最期まで暮らすお手伝い」をするために、理学療法士としてできる事を考えていきたいと思っています。

●山田記念朝日病院



田中 映美

当院は長野市北東部にある民間病院です。病床数は一般病床6床、地域包括ケア病床42床、リハビリテーションスタッフはPT4名、OT4名、ST1名が所属しています。法人内には医療療養型を有する病院・特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・ケアハウス・グループホームがあります。

業務内容としては外来診療と入院診療を行っており、主に地域包括ケア病床に入院されている患者さんの診療をさせていただいています。在宅復帰を目標とした患者さんの退院支援を行うほか、在宅復帰が困難である方や医療依存度が高い方など様々な患者さんと関わらせて頂いております。最近では90歳を過ぎた超高齢の方が多く、業務の中でも高齢化を感じています。

地域の皆様から信頼される病院として質の高い医療と良質なサービスにより健康づくりのお手伝いをするという当院の理念の下、これからもリハビリテーション業務に励んでいきたいと思っております。



賛助会員広告

車イス・介護用品・福祉機器
身体障害者用自動車運転装置

製作・販売・レンタル

Mitsui マツイ商会(有)



本 社 〒390-0827 松本市出川2丁目19-6
☎ (0263) 87-2255・FAX (0263) 25-5577

長野営業所 〒381-2204 長野市真島町真島1286
☎ (026) 285-6070・FAX (026) 285-6139

福祉用具のレンタル・販売・住宅改修

CARE 介護ショップ **サクラケア**

千曲店 /TEL(026)273-4115 佐久店 /TEL(0267)64-5115
長野店 /TEL(026)223-4115 塩尻店 /TEL(0263)59-4115
長野北店 /TEL(026)252-4115 伊那店 /TEL(0265)77-4117
長野南店 /TEL(026)299-4115 松本店 /TEL(0263)78-6311
上田店 /TEL(0268)21-4115 上越店 /TEL(025)531-0553
中野店 /TEL(0269)24-6775

長野県内10店舗のネットワークで県内どこでも
安心のサービスをお届けします。
URL <http://www.sakura-care.co.jp/>

有限会社 アルテックブレース

愛知県一宮市猿海道2-11-9
〒491-0838
TEL 0586-23-6808
FAX 0586-23-6818

赤外線カメラを用いた歩行分析システム

「平地」でも「トレッドミル」でも
短時間で臨床向けレポートを出力



約1分間

マーカを自動認識！
空間に入って歩くだけ

キッセイコムテック株式会社 公共・医療ソリューション事業部
TEL :0263-40-1122 E-mail: motion@comtec.kicnet.co.jp

長野県理学療法士会員の皆様の
一生の安心をお手伝いしたい……

「生きる」を創る。

Aflac



アフラックサービスショップ (株) エヌアイ
募集代理店

フリーダイヤル 0120-14-6465
〒388-8018 長野市篠ノ井西寺尾2436-1

有限会社 古瀬義肢製作所

松本市沢村2-2-30
〒390-0877
TEL 0263-33-4586
FAX 0263-33-3066

ウィールチェアー中部株式会社

(H22.8 社名変更しました)

〒407-0003

山梨県韮崎市藤井町北下条 1140-11

TEL 0551-23-4368

FAX 0551-23-4369

運動計測なら

おまかせください



ワイヤレスで動作解析

8チャンネル小型無線モーションレコーダ

マイクロストーン株式会社

〒385-0007 長野県佐久市新子田 1934

URL : <http://www.microstone.co.jp>

土屋メディカル株式会社

長野店

〒381-2246

長野市丹波島2丁目10-12

TEL 026-283-7070

もっとたくさんの笑顔のために

地元で介護のお手伝い

福祉用具のレンタル・販売・住宅リフォーム
障害者福祉・健康用品・無添加ボディケア用品・介護食 etc

有限会社 ケーアンドケーメディカル



長野県佐久市白田 1935

TEL0267-82-0239 FAX0267-82-0026

URL : <http://www.kk-medical.co.jp>

三方よし。

「買手よし、売り手よし、世間よし」
近江商人の理念をきた「三方よし」の原形は、
中村長平翁が徳と徳と徳とを道徳とあるとされ、
そこは「なまへ徳内参り地でも、
この商内物、この国の人、一切の人々、
心よく着申され候まうと、自分の事と思わず、
皆人も様にも害されは、
私たちが中日本メディカルには、
この精神を現代に生かして、お皆様私たちが、
そして地域社会よりよくなるよう、
医療機器の取扱い、努めまわります。



Seiei Alles Sante
JML 中日本メディカルリンク株式会社

- | | | |
|---|--|--|
| ■ 本社 026-283-7070 長野市丹波島2丁目10-12
TEL:026338-0411 FAX:026338-0266 | ■ 長野事業所 026-283-7070 長野市丹波島2丁目10-12
TEL:026338-0411 FAX:026338-0266 | ■ 佐久事業所 026-283-7070 佐久市白田1935
TEL:026782-0239 FAX:026782-0026 |
| ■ 安曇野事業所 026-283-7070 安曇野市穂高2287-3
TEL:026371-5030 FAX:026371-5033 | ■ 伊豆事業所 026-283-7070 伊豆市東山1-1-1
TEL:026365-1160 FAX:026365-1161 | ■ 任事業所 026-283-7070 任市丸の内8-1
TEL:026338-0266 FAX:026338-0267 |
| ■ 商品管理センター 026-283-7070 安曇野市穂高2287-3
TEL:026371-5030 FAX:026371-5033 | ■ 伊豆事業所 026-283-7070 伊豆市東山1-1-1
TEL:026365-1160 FAX:026365-1161 | ■ 介護用品事業所 026-283-7070 任市丸の内8-1
TEL:026338-0266 FAX:026338-0267 |

アフラックサービスショップ

株式会社 エヌアイ

「生きる」を創る。

Aflac

長野店 フリーダイヤル 0120-14-6465

〒381-8018 長野市篠ノ井西寺尾2436-1

上田店 フリーダイヤル 0120-65-4427

〒386-0002 上田市住吉287-5

Kneemo[®]

ニーモ

デモ機
あります

Kneemo は、早期離床・歩行の自立を目的として
脳卒中後の片麻痺の方の歩行をサポートします。



屈曲サポート

伸展サポート

屈曲伸展サポート

ゴムチューブを動力源として、膝関節の屈曲・伸展をサポートする歩行補助機器です。
強さの異なる4種の補助チューブは訓練経過に合わせて簡単に交換できます。

カタログ・動画はこちらから→



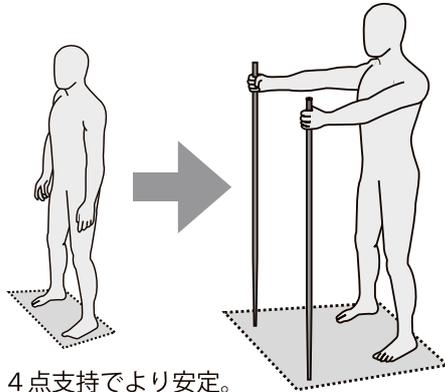
tel. (0568) 47-1701 (代)
fax (0568) 47-1702
info@pomgs.co.jp
http://www.pomgs.co.jp

株式会社 **松本義肢製作所**
しあわせをかたちにする人と技術の会社です
本社：愛知県小牧市大字林 210 番地の 3
(営業拠点：名古屋 / 静岡 / 長野)

新しいウォーキングスタイルの提案

あんしん2本杖

4点支持により転倒を予防、
これからの杖のカタチです。



4点支持でより安定。

あんしん2本杖 税込 ¥7,875(2本1組)

色：ブラウン、イエロー

お問合先

株式会社 **シナジ**

〒385-0022 長野県佐久市岩村田1104-1

TEL.0267-67-3321 FAX.0267-67-3326



リハノメ PT・OT・STのための
総合オンラインセミナー

「リハノメ」はPT・OT・STのための、どこでも学べる
オンラインセミナーサービスです。臨床に悩むPT・OT・STのために、
各分野の専門家が臨床経験や研究成果に基づいた知識・技術をお届けいたします。

1ヶ月見放題プラン

通常料金 3,080円が初回限定で…

980円

(税込)

お申込はこちら



理学療法士 / 国際医療福祉大学大学院
医療福祉学研究所 福祉支援工学分野 教授
石井 慎一郎 先生

配信動画 基本動作の分析とバイオメカニクス など

豪華講師陣が
ご登壇!

理学療法士 / さとう整形外科
赤羽根 良和 先生

配信動画 若手療法士のための
整形外科疾患の理解
～肩関節周囲炎～ など

さらに
**法人様
向けプラン**
のご用意もしております。
資料請求などリハノメHP
からお問い合わせください。

リハビリテーションを
『かたち』にする会社

gene

お問い合わせは
こちらまで
お願いいたします

✉ seminar@gene-llc.jp

Tel.052-325-6611

リハノメ 検索



〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵1丁目26-12 IKKO新栄ビル 6階

原稿掲載依頼

「PT ながの NEWS」へ原稿の掲載をご希望される方は、広報部までご連絡をお願い致します。
メールアドレス：kouhou-pt@akekeyu-hp.com



一般社団法人
長野県理学療法士会
Nagano Physical Therapy Association

一般社団法人長野県理学療法士会事務局

〒380-0836 長野市南県町 685-2 長野県食糧会館 5F
TEL：026-234-3540 FAX：026-234-3550
(一社) 長野県理学療法士会ホームページ
<https://ptnagano.or.jp>
